

越中の山間寺院遺跡

久々 忠義

越中において、山間寺院遺跡として取り上げることができるのは11カ所である。また、山間地ではないが、「寺」と墨書した土器が出土した遺跡が3カ所ある。表1にその概要をまとめた。

そのうち、古代の例として小杉流通業務団地内遺跡、中世の例として福光町医王山の遺跡、江戸時代の例として上市町伝真興寺跡を紹介する。

1. 小杉流通業務団地内遺跡

富山県のほぼ中央部、小杉町と大門町にまたがる標高20～35mの丘陵地にある。ここには、小杉丸山遺跡という7世紀中頃の瓦塔兼業窯をはじめ、7世紀初頭から8世紀の須恵器窯が多く残されている。また8～9世紀の製鉄遺跡も多く分布しており、古代の工業団地ともいべきところである。そのなかのNo16遺跡、No18A遺跡、No19遺跡が、山間寺院の可能性が考えられる。

No16遺跡では、丘陵斜面に奥行き12mの平坦面を作り出し、一辺4×6mの小さい掘立柱建物があり、建物の中に焼土面が残されている。この平坦面から縦6.4cmの仏像を描いた粘土板（印仏）が出土している。斜面下の谷部からは、土馬・舟形木製品・鳥形須恵器・「小橋寺」墨書土器などが出土している。

No18A遺跡は、No16遺跡の南100mに位置する。ここの遺構としては、土師器焼成窯が注目できる。出土品には、「優□」という墨書土器がある。優のつぎの文字をどう呼ぶか問題だが、「塞」とすると、「優婆塞」（僧ではない山林修行者のことといわれる）の意味と取ることができる。

No19遺跡は、No16遺跡の南100mに位置する。ここでは、五重塔の先端につけられる陶製相輪が出土している。九輪の直径が45cmであることからみて、これが取り付けられる塔の大きさは約16mぐらいとなる。

印仏、「優□」墨書土器、相輪が、その位置を大きく動いていないものとするれば、このあたりに仏教者がいたこと、寺があったことが想定できよう。そして、そこが須恵器や鉄の生産遺跡であることや、水に関わる祭祀が行われていたことから、仏教者や寺が手工業生産や祭祀に関わっていた可能性が考えられる。時期はいずれも奈良時代8世紀である。

2. 医王山山麓遺跡

富山県の西部、福光町と金沢市にまたがって、標高939.2mの医王山がある。その東側斜面に、四十八か寺三千坊の寺院があったと伝えられている。その山の斜面には、人工的に削りだしたとみられる平坦面が各所に残る。そのうち、香城寺惣堂遺跡、ショウゴン寺遺跡と名付けられた2ヶ所で発掘調査が行われている。

香城寺惣堂遺跡は、丘陵斜面の尾根が二股に分かれる股の部分を削り出し、広い面で奥行き60m幅40mの平坦面を作り出している。平坦面には、礎石建物があり、谷川は池状になっている。また、斜面側には、境内を区画する石列がある。尾根の北側と南側に、石を積んだり並べたりした墓がつくられている。出土遺物は、古いもので8世紀末～9世紀始めのものがあり、次いで10世紀初め頃のもの、12世紀後半のもの、14世紀のものがある。墓や平坦面の遺構は、12世紀後半から14世紀に作られたも

のと考えられる。

シウゴン寺遺跡は、惣堂遺跡の南80mにある。間口50m奥行き40mの平坦面に、礎石建物（3間3間・一辺7.4m）、塀の基壇とみられる石垣土塁（幅2.2m高さ約1m）があり、礎石建物の背後には池が作られている。また、奥に、一辺7mの方形石組みがある。時期は、14世紀中頃とみられている。

これらの調査から、中世の山間寺院の形が読みとれる。敷地を区画する塀で囲まれた平坦面に、堂とみられる礎石建物を置き、その中には池が作られている。そしてその周囲に墓地を配置するというものである。そのうち、石列を2重に巡らす方形石組みは、一辺3.5mの小さい石組みは墓であることがわかったが、一辺6.5～7mの大きな石組みは建物の基壇になる可能性がある。

3. 伝真興寺跡

富山県の東部、中新川郡上市町にある。この町にある大岩日石寺には、12世紀前半に作られたといわれる磨崖仏がある。また、その裏山には、仁安2年（1167）銘のある経筒が出土した京ヶ峰経塚がある。伝真興寺跡は、その北方6.5kmに位置する。

真興寺は、寛弘5年（1008）開山と伝えられる寺院である。谷を登ったところにあり、間口50m奥行き35mの平坦面に、本堂とみられる礎石建物があり、本堂の横に池が作られている。境内を区画する石垣も残る。また、南角に、一辺3.5m（礎石建物）があり、ここから風鐸とみられる鉄製品が出土しており、塔跡とみられる。

この遺構は、江戸時代（18世紀）のものであるが、8世紀ないし9世紀、12世紀前半、15～16世紀の出土品もあり、そのような古い時期にも寺が存在した可能性が考えられている。というのも、近年、この南東450mで、鎌倉時代の大規模な墳墓群である黒川上山古墓群が、また南南東650mで、円念寺山遺跡（経塚）が発見されているからである。これらの発見から、中世の黒川地区が、密教霊場ともいべき宗教空間であったことがあきらかになりつつある。

4. おわりに

越中の山間寺院遺跡は、以上のほかに、鉄滓などが出土している小矢部市田川板取原遺跡があり、古代では手工業生産に関わりが深いということがある。また、山間地の谷間や北野上林遺跡のように谷川に面する台地上にあることから、水源地に立地することが注目される。吉倉B遺跡、任海宮田遺跡は、氾濫原の開拓遺跡であるが、そこから「寺」墨書土器が出土することは、原野の開拓に僧が深く関わっていたことを想像させる。

ところで、越中では立山の存在を無視するわけにはいかない。平安時代に越中守佐伯有若によって開かれたといわれており、富山大学が行った芦畷寺室堂遺跡の発掘調査などでは、10世紀初頭の須恵器も発見されている。また、劔岳・大日岳からは、8世紀末～9世紀初頭の錫杖頭の出土が古くから知られており、その頃に、このような高山に分け入って修行する人々のあったことを知ることができる。

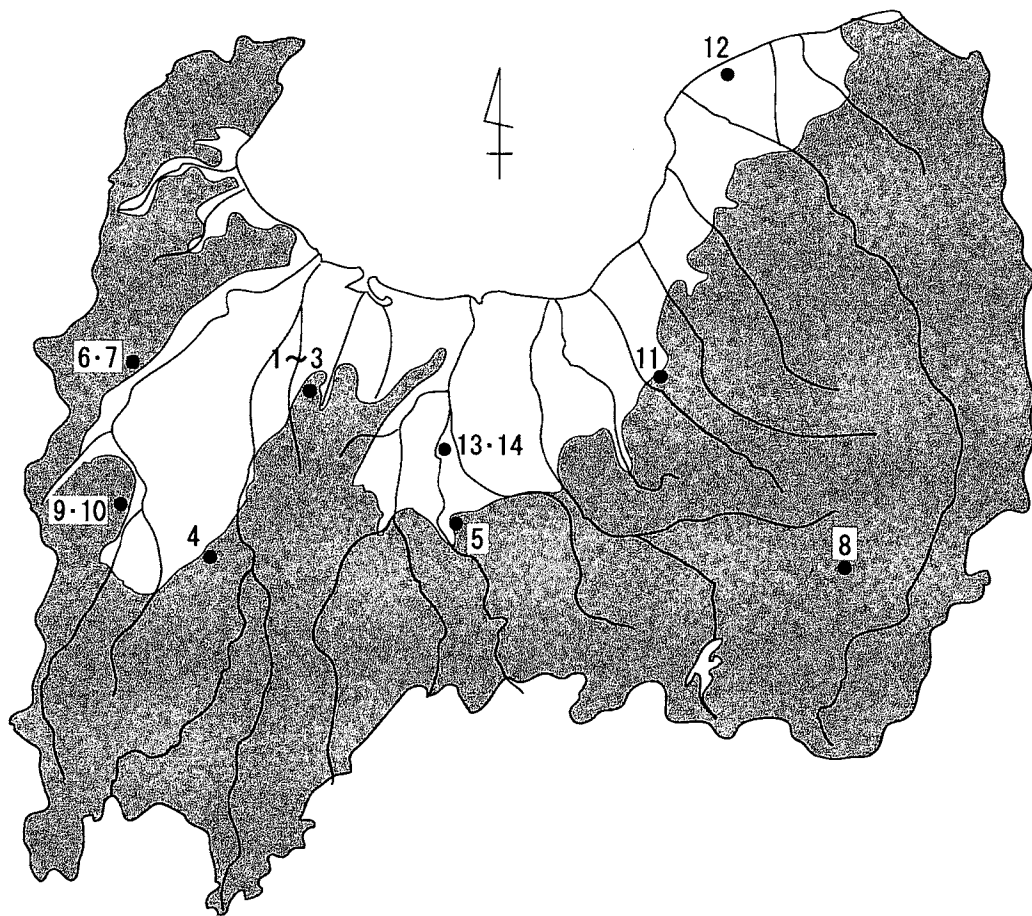
表1 富山県山間寺院関連遺跡一覧

番号	遺跡名	所在地	時期	遺構	特記遺物	立地標高	文献
1	小杉流通業務団地内 No.16遺跡	射水郡小杉町	8世紀	平坦面 掘立柱建物 須恵器窯	印仏・台座・陶製印 章・円面硯・舟形・ 鳥形・土馬・漆容 器・墨書「小橋 寺」、ヘラ書き「大 夫」「秦人」	丘陵22m	①
2	小杉流通業務団地内 No.18A遺跡	射水郡小杉町	8世紀	竪穴住居 土師器焼成 窯	墨書「優塞」か	丘陵14～23m	②
3	小杉流通業務団地 No.19遺跡	射水郡小杉町	8世紀	竪穴住居 掘立柱建物	相輪	丘陵21m	③
4	北野上林B遺跡	東砺波郡城端町 ・井口村	9世紀	平坦面	台座	丘陵220m	④
5	野沢遺跡	上新川郡大沢野町	10世紀	竪穴住居 掘立柱建物	和鏡	段丘115m	⑤
6	稲葉山牧場B遺跡	小矢部市田川	9世紀	掘立柱建物	鉄滓	段丘340m	
7	田川板取原遺跡	小矢部市田川	7世紀末 9世紀	平坦面	灯明須恵器杯	丘陵170～ 180m	
8	芦峯寺室堂遺跡	立山町芦峯寺	10世紀 12世紀～ 江戸	土坑 礎石建物	須恵器 和鏡・懸仏	山地2446m	⑥
9	香城寺惣堂遺跡	西砺波郡福光町	8世紀末 9世紀末 ～12世紀 初 12 世紀中～ 15世紀	平坦面 礎石建物 土坑・方形 石組・小型 方形石組墓 集石墓・池	灰釉陶器・転用硯・ 珠洲・常滑・加賀・ 青白磁・瀬戸	丘陵246～ 251m	⑦
10	ショウゴン寺遺跡	西砺波郡福光町	14世紀中 ～15世紀 中	平坦面 礎石建物 土塁・門 方形石組 池	土師皿・珠洲	丘陵216～ 225m	⑦
11	伝真興寺跡	中新川郡上市町	8～10世 紀 15 ～16世紀 江戸	平坦面 礎石建物 門・池	須恵器・土師器 土師皿・珠洲・越中 瀬戸・唐津・伊万里	丘陵125m	⑧
12	じょうべのま遺跡	下新川郡入善町	9～10 世紀初	掘立柱建物 井戸	墨書「□寺」	扇状地5m	⑨
13	吉倉B遺跡	富山市吉倉	9～10世 紀	掘立柱建物	墨書「柴寺」か	扇状地35m	⑩
14	任海宮田遺跡	富山市任海	9世紀	掘立柱建物	墨書「観音寺」「壱 田」	扇状地30m	⑪

文献

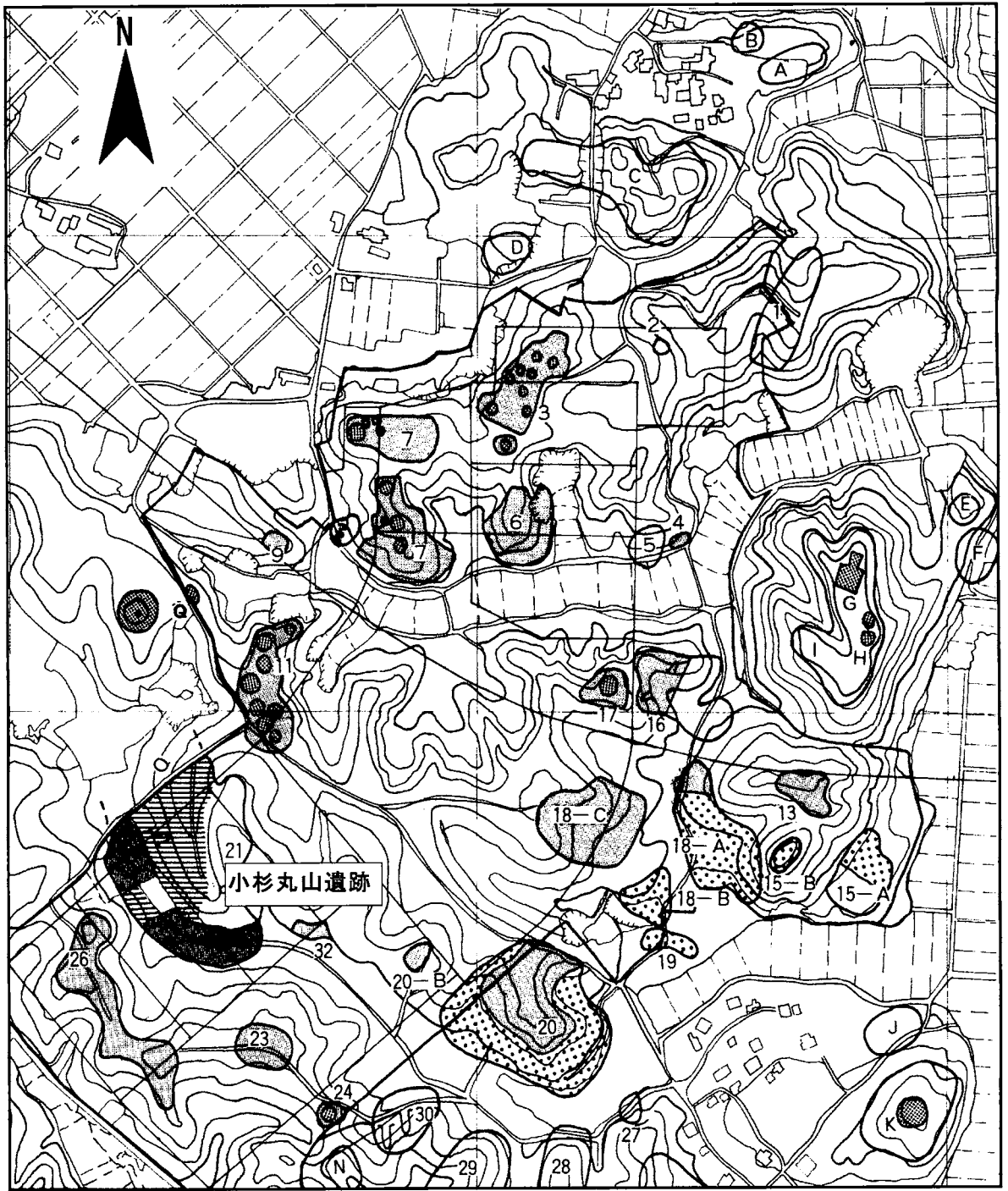
- ①富山県教育委員会1984『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第6次緊急発掘調査概要』
 ②富山県埋蔵文化財センター1993『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第10・11次発掘調査概要』
 ③富山県教育委員会1986『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第8次緊急発掘調査概要』
 ④井口村1992『井口村史下巻 資料編』
 ⑤大沢野町教育委員会1981『富山県大沢野町野沢遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
 ⑥富山大学人文学部考古学研究室・立山町教育委員会1994『芦峯寺室堂遺跡』
 ⑦富山県福光町・医王山文化調査委員会平成5『医王山文化調査報告書 医王は語る』
 ⑧上市町教育委員会2000『富山県上市町黒川上山古墓群発掘調査第5次調査概報 伝承 真興寺跡』
 ⑨富山県教育委員会1974『富山県埋蔵文化財調査報告Ⅲ』
 ⑩富山県埋蔵文化財センター1994『富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告 (四) 吉倉B遺跡』
 ⑪富山市考古資料館1997『富山市の古代文字』館報第32号 富山市教育委員会

1. 関連遺跡
 - ・10ヶ所
 - ・7末～8世紀、9～10世紀、11～16世紀、江戸時代
 - ・平坦面、建物、墓、池
2. 立地
 - ・丘陵中腹、谷間（川が流れる）
3. 特記遺物
 - 仏教関連遺物、寺名墨書土器、祭祀遺物、鉄滓

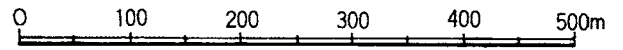


関連遺跡位置図

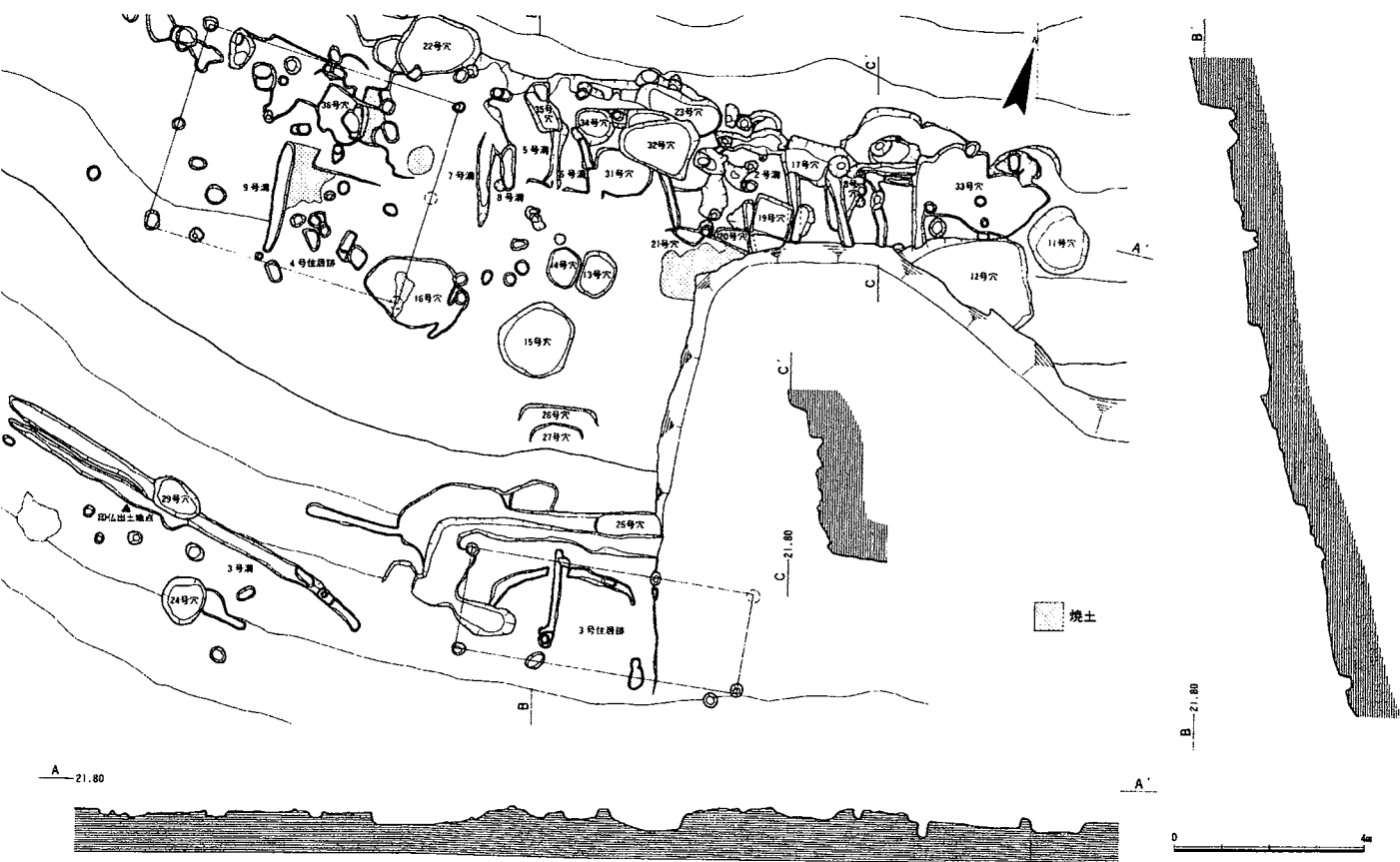
- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 小杉流通業務団地内No. 16 遺跡 | 8 芦峯寺室堂遺跡 |
| 2 小杉流通業務団地内No. 18A 遺跡 | 9 香城寺惣堂遺跡 |
| 3 小杉流通業務団地内No. 19 遺跡 | 10 ショウゴン寺遺跡 |
| 4 北野上林B 遺跡 | 11 伝真興寺跡 |
| 5 野沢遺跡 | 12 じょうべのま遺跡 |
| 6 稲葉山牧場B 遺跡 | 13 吉倉B 遺跡 |
| 7 田川板取原遺跡 | 14 任海宮田遺跡 |



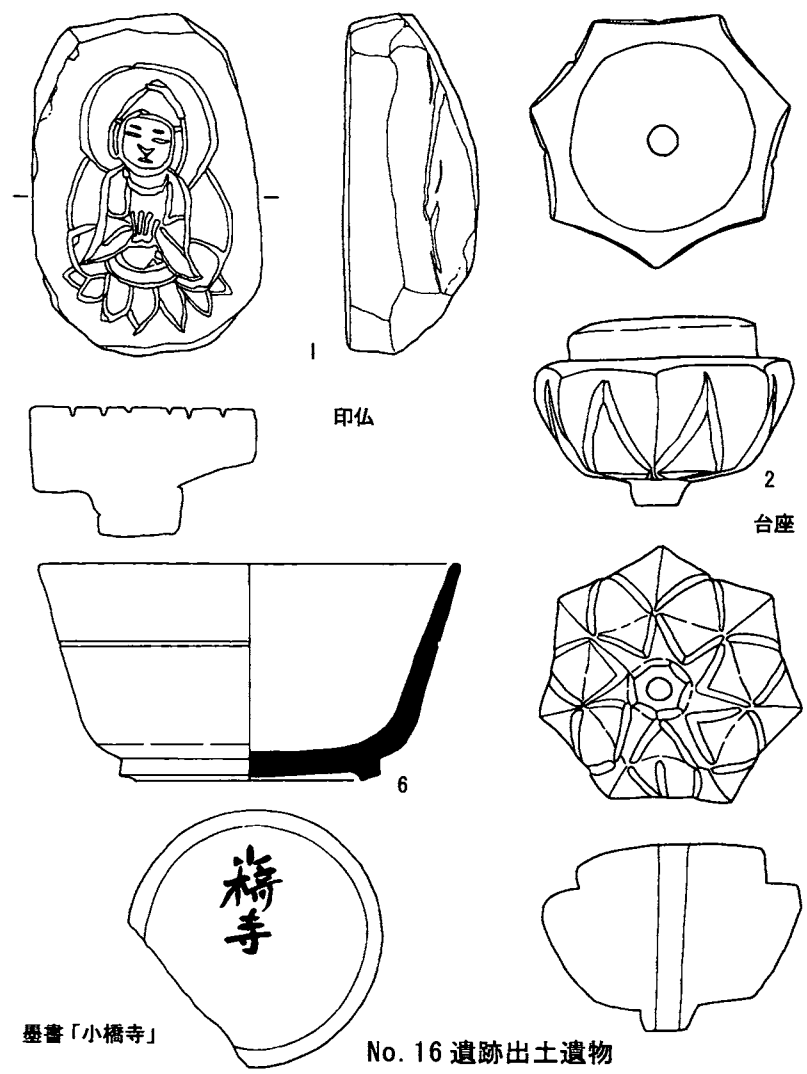
- 古墳
- ┆ 須惠器窯跡



小杉流通業務団地内遺跡群位置図

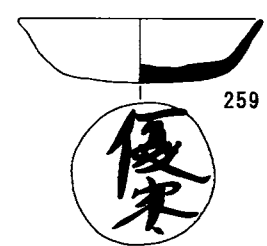


小杉流通業務団地内 No. 16 遺跡遺構主要部

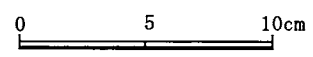


墨書「小橋寺」

No. 16 遺跡出土遺物

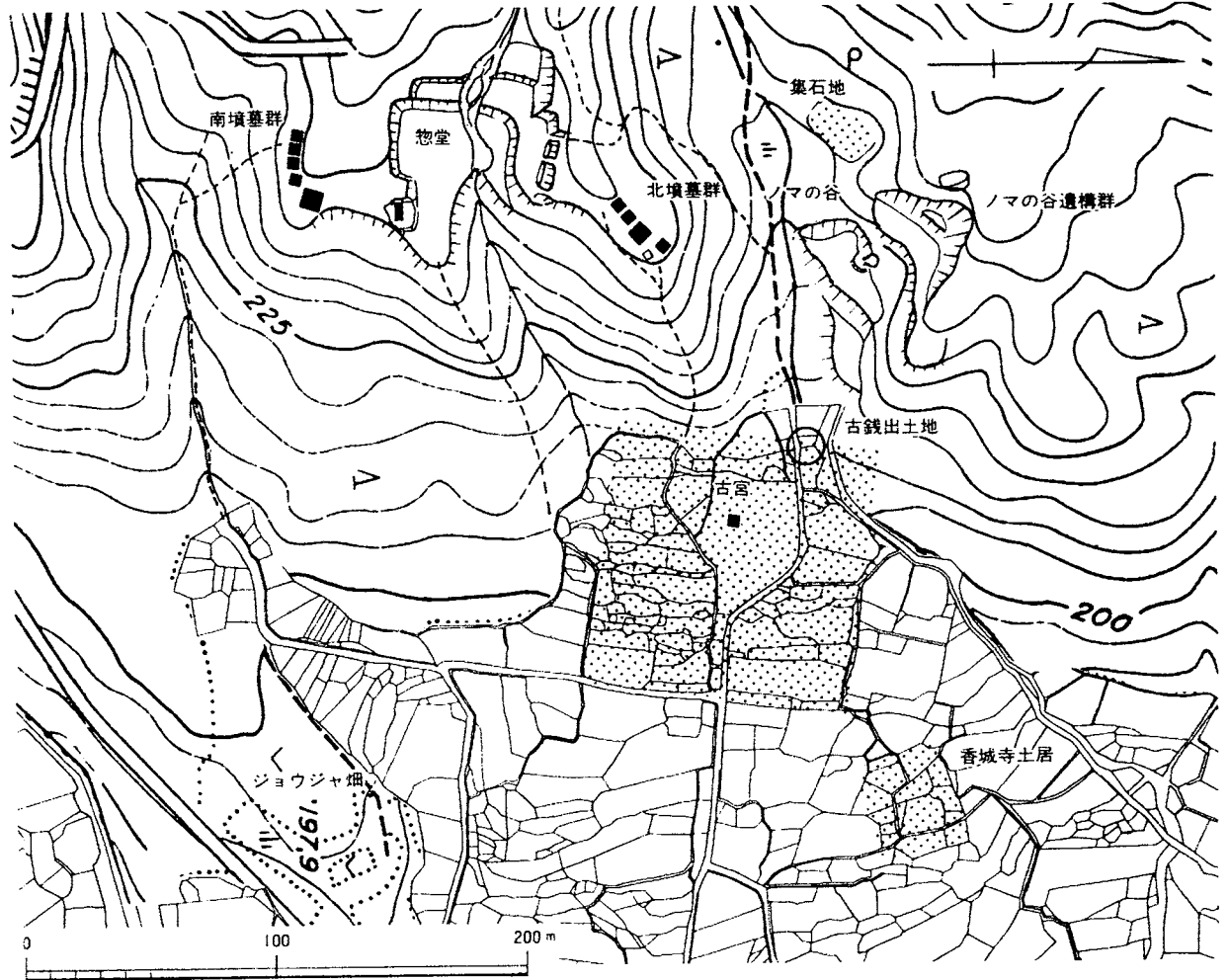


小杉流通業務団地内 No. 18A 遺跡出土墨書「優塞」か

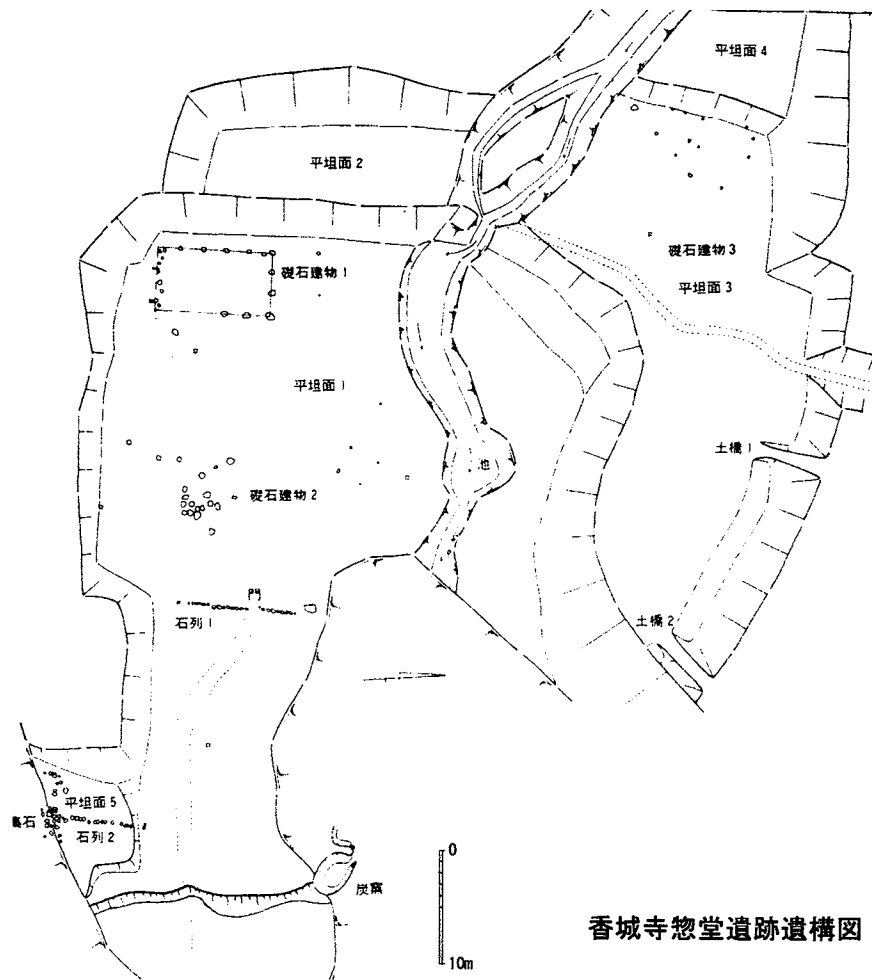




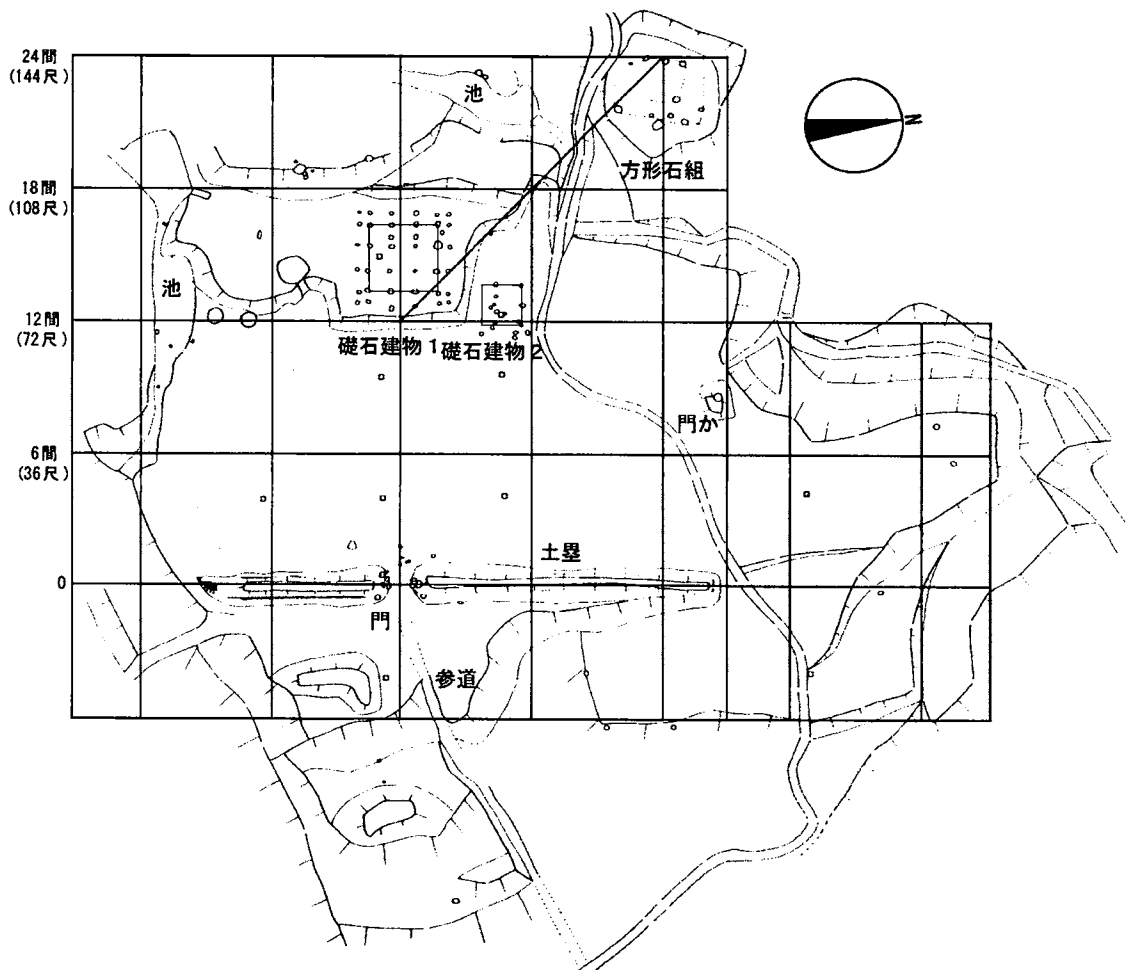
医王山遺跡群位置図



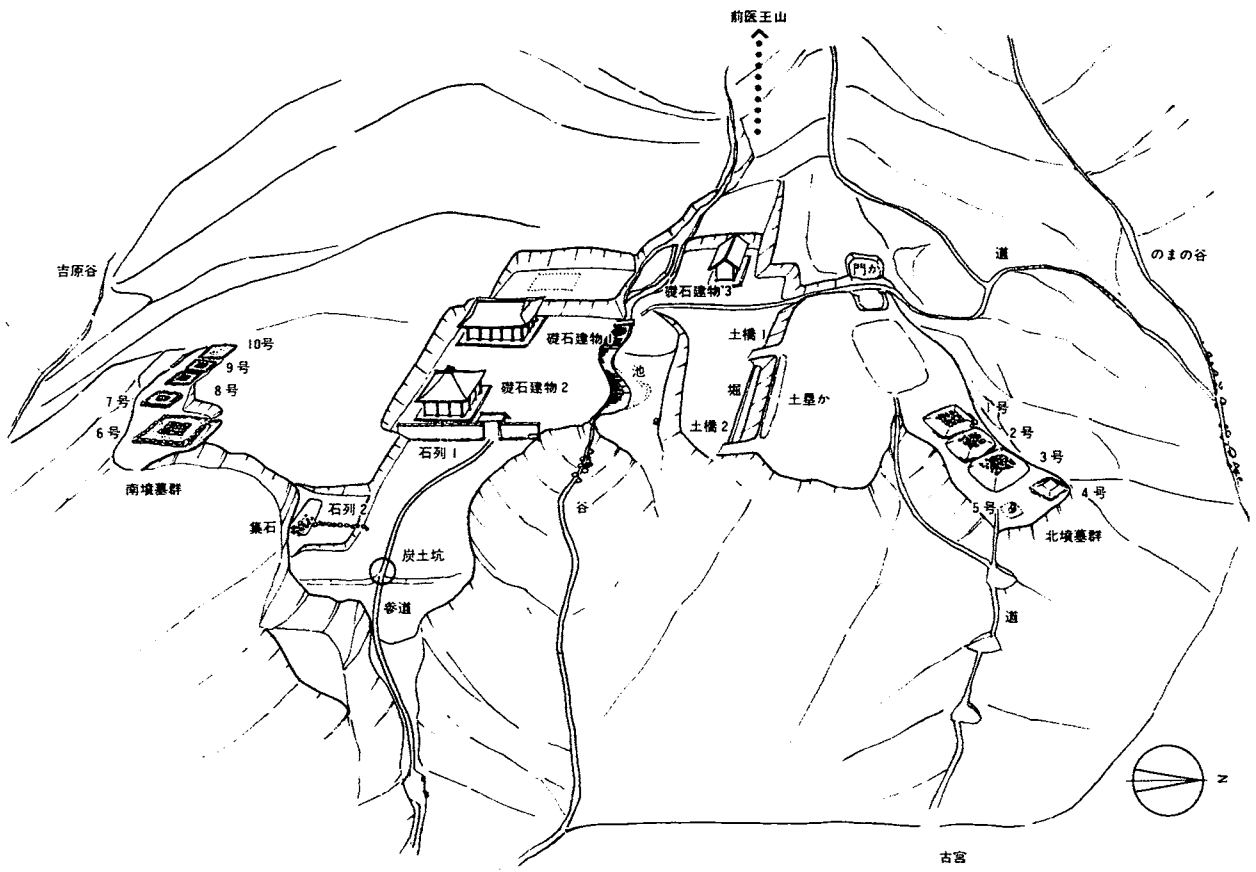
香城寺惣堂遺跡と周辺の遺跡



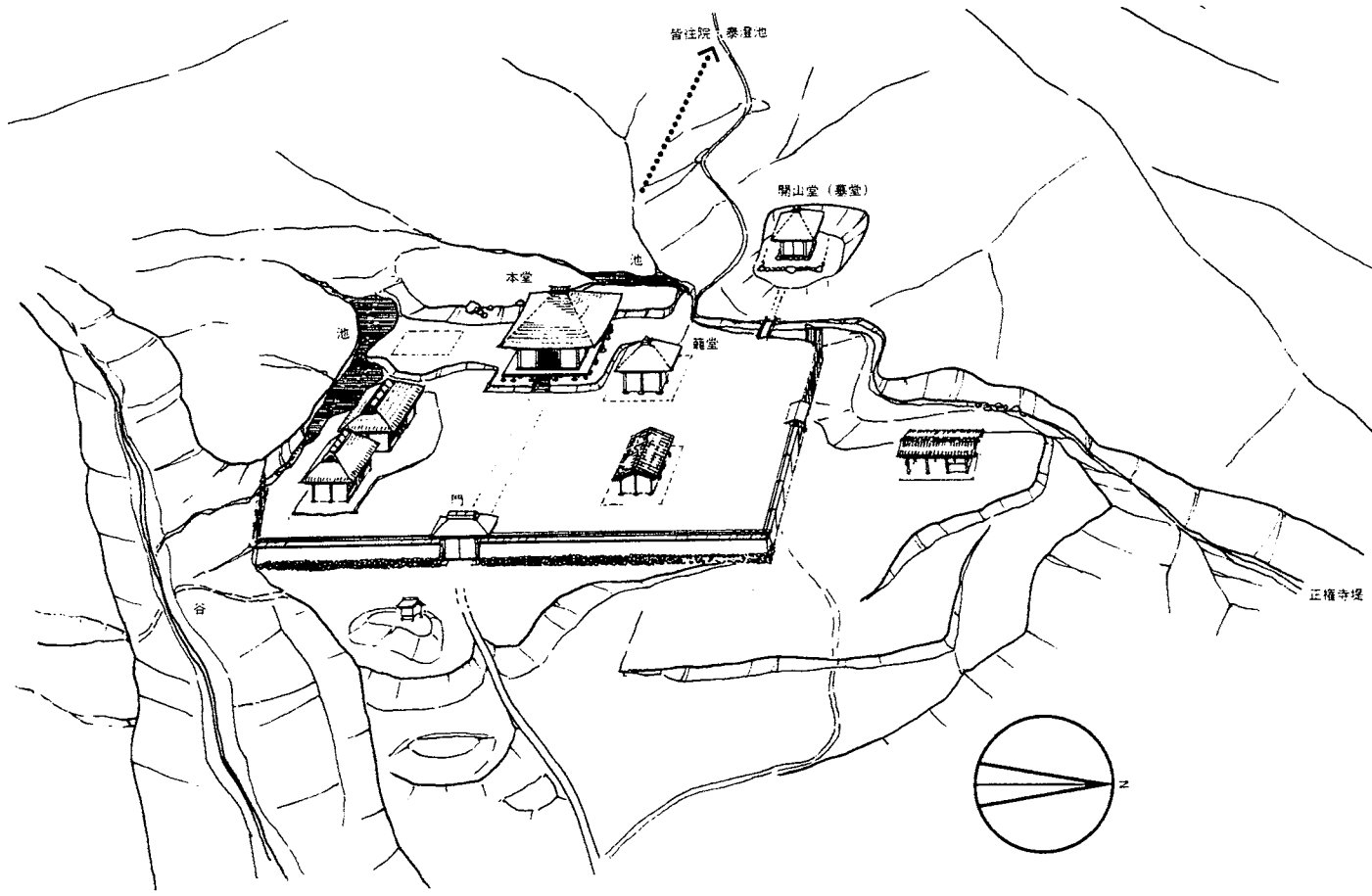
香城寺惣堂遺跡遺構図



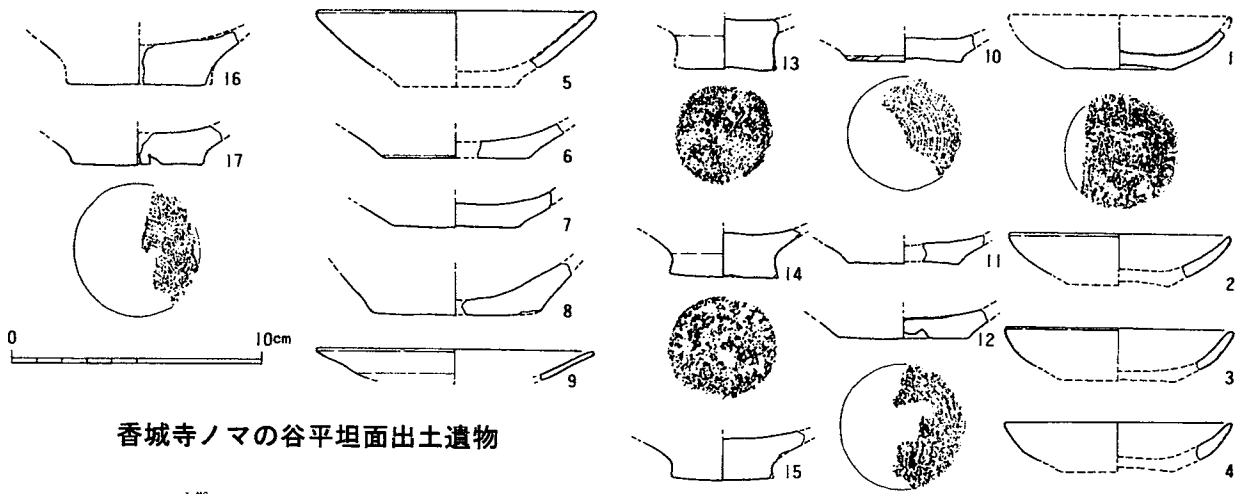
ショウゴンジ遺跡の造成配置計画



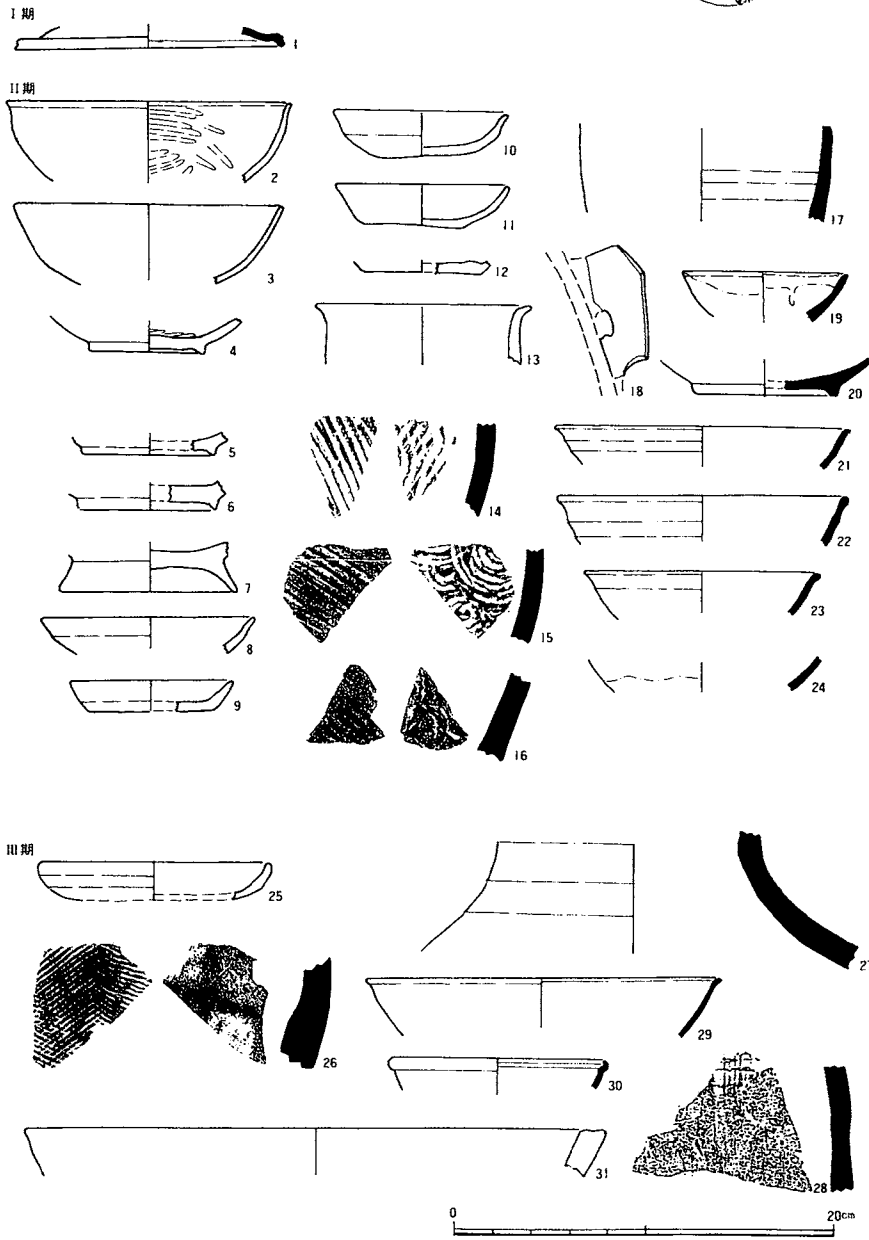
香城寺惣堂遺跡推定復元図



シウウゴンジ遺跡推定復元図



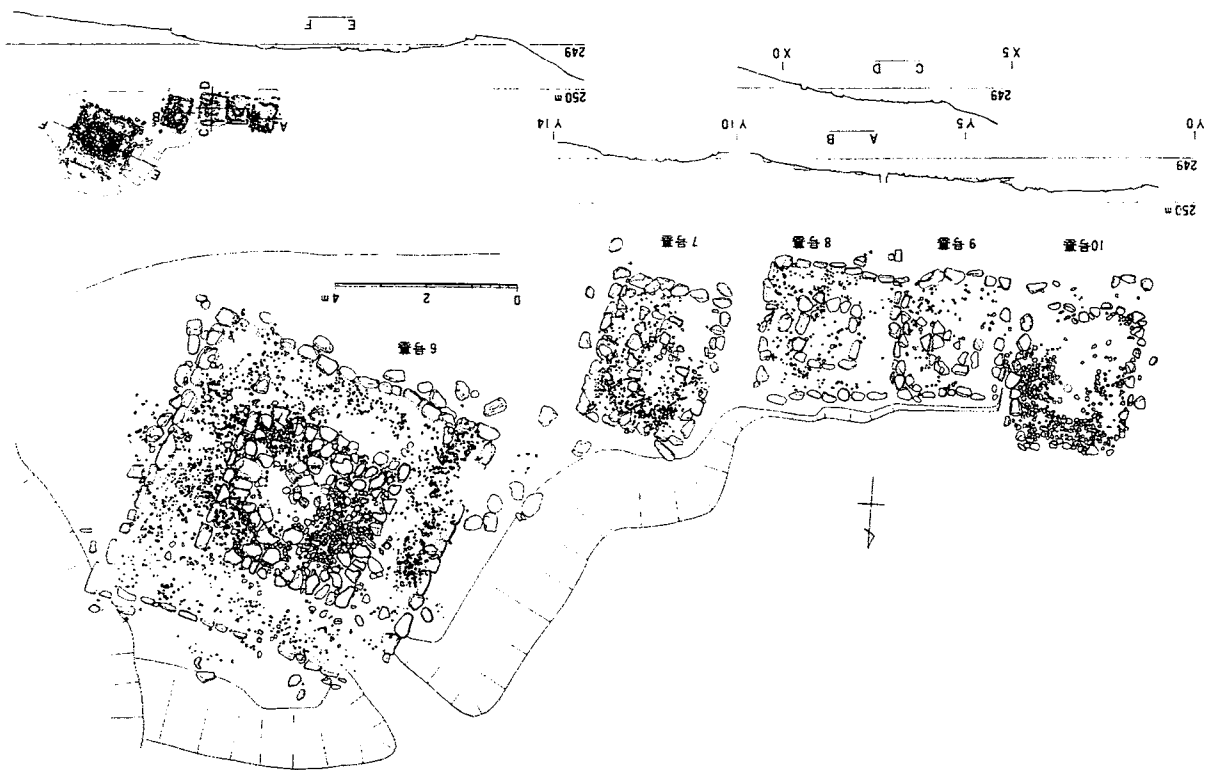
香城寺ノマの谷平坦面出土遺物



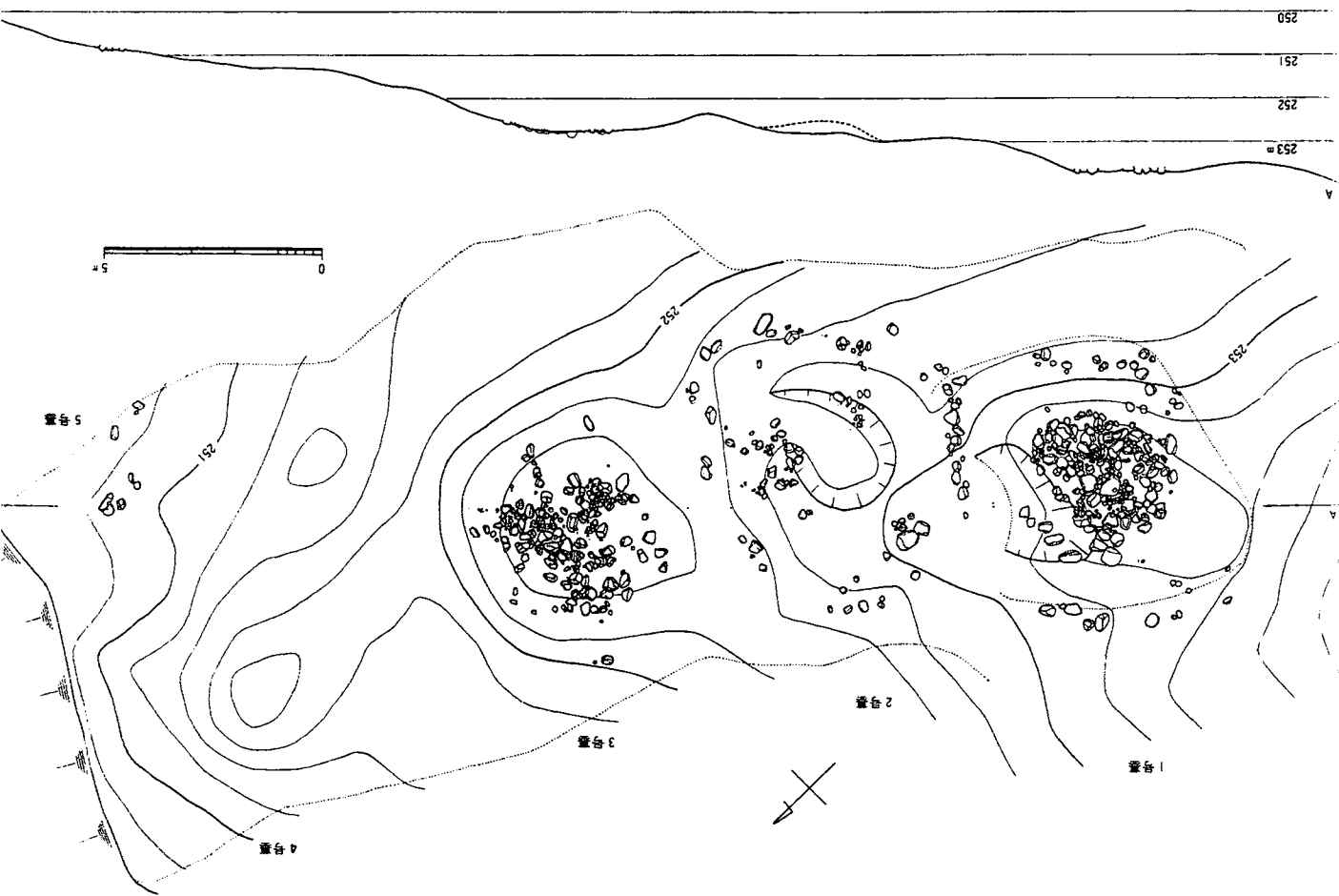
香城寺惣堂遺跡出土遺物

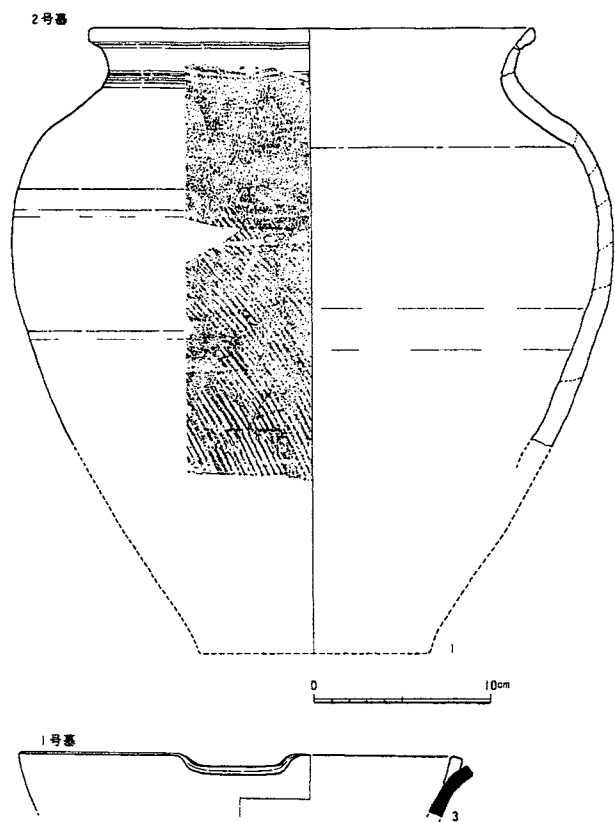
- | | | |
|--------------|--------------|-----------------|
| 1 坏蓋(須恵器) | 2~6 椀(黒色土器) | 7 椀(土師器) |
| 8~11 皿(土師器) | 12 坏(須恵器) | 13 壺(土師器) |
| 14~16 壺(須恵器) | 17-18 壺(須恵器) | 19~24 碗(美濃灰釉陶器) |
| 25 皿(土師器) | 26 壺(珠洲) | 27-28 壺(加賀) |
| 29 碗(青白磁) | 30 おろし皿(瀬戸) | 31 火舎(土師器) |

明城半邊城跡西北城牆址圖

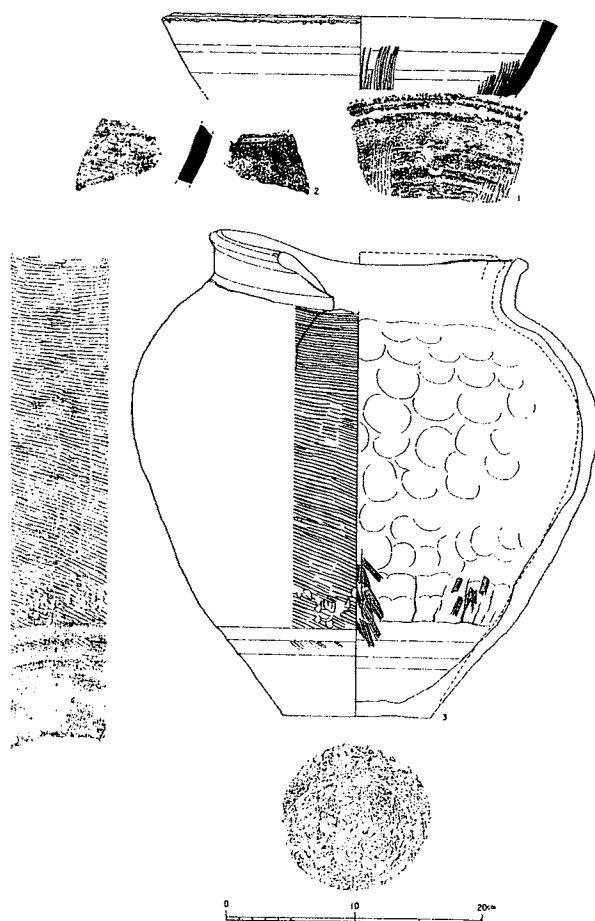


明城半邊城跡西北城牆址圖

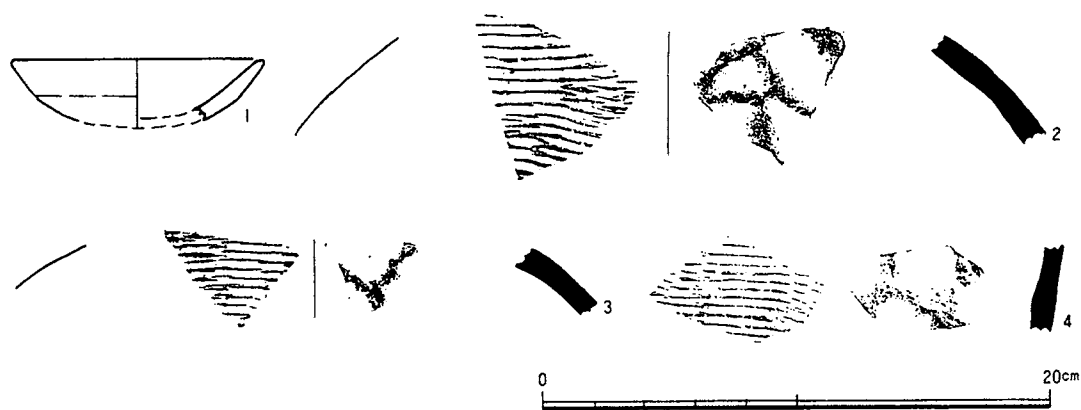




香城寺惣堂遺跡北墳墓群出土遺物

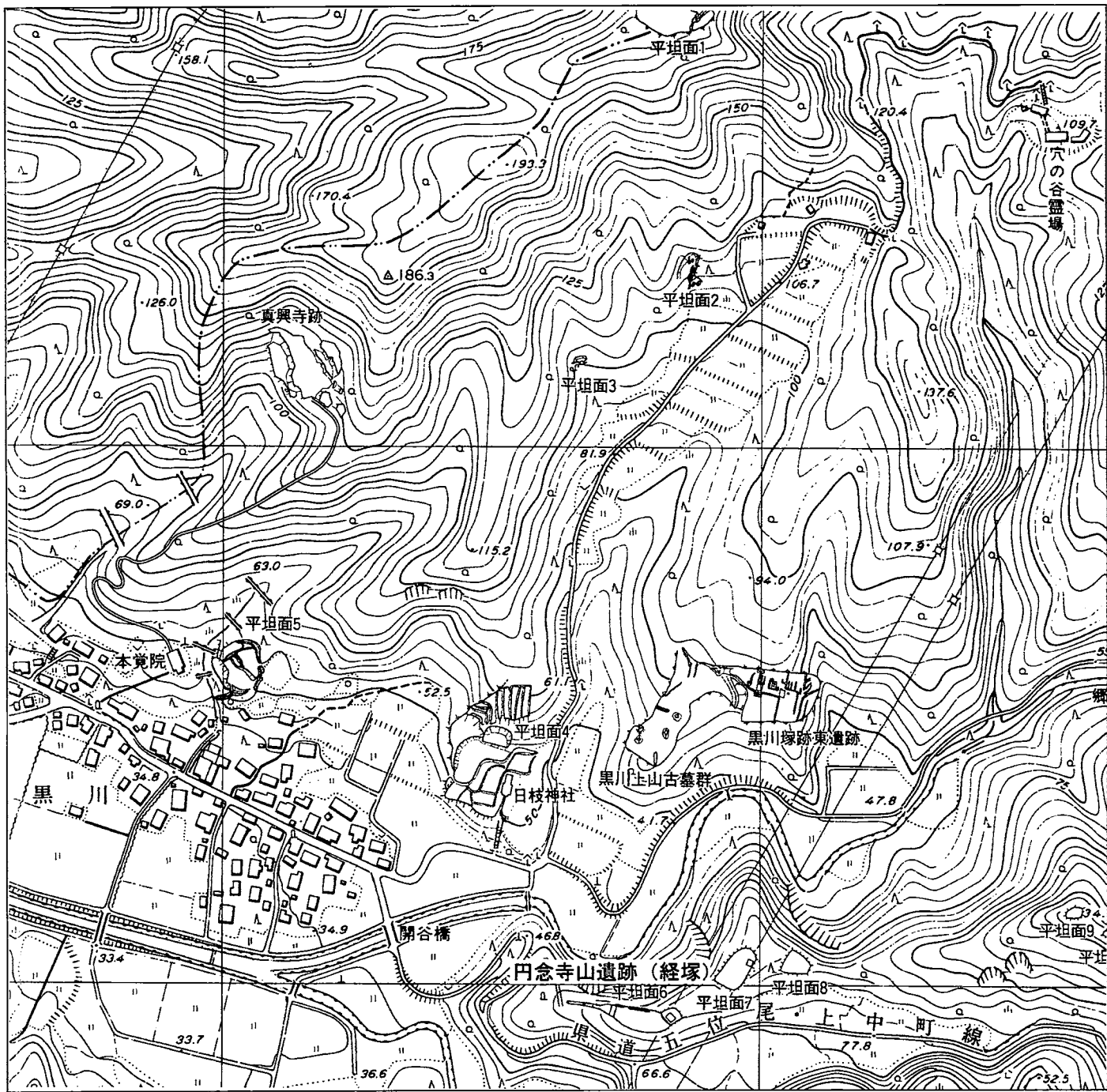


香城寺惣堂遺跡南墳墓群出土遺物

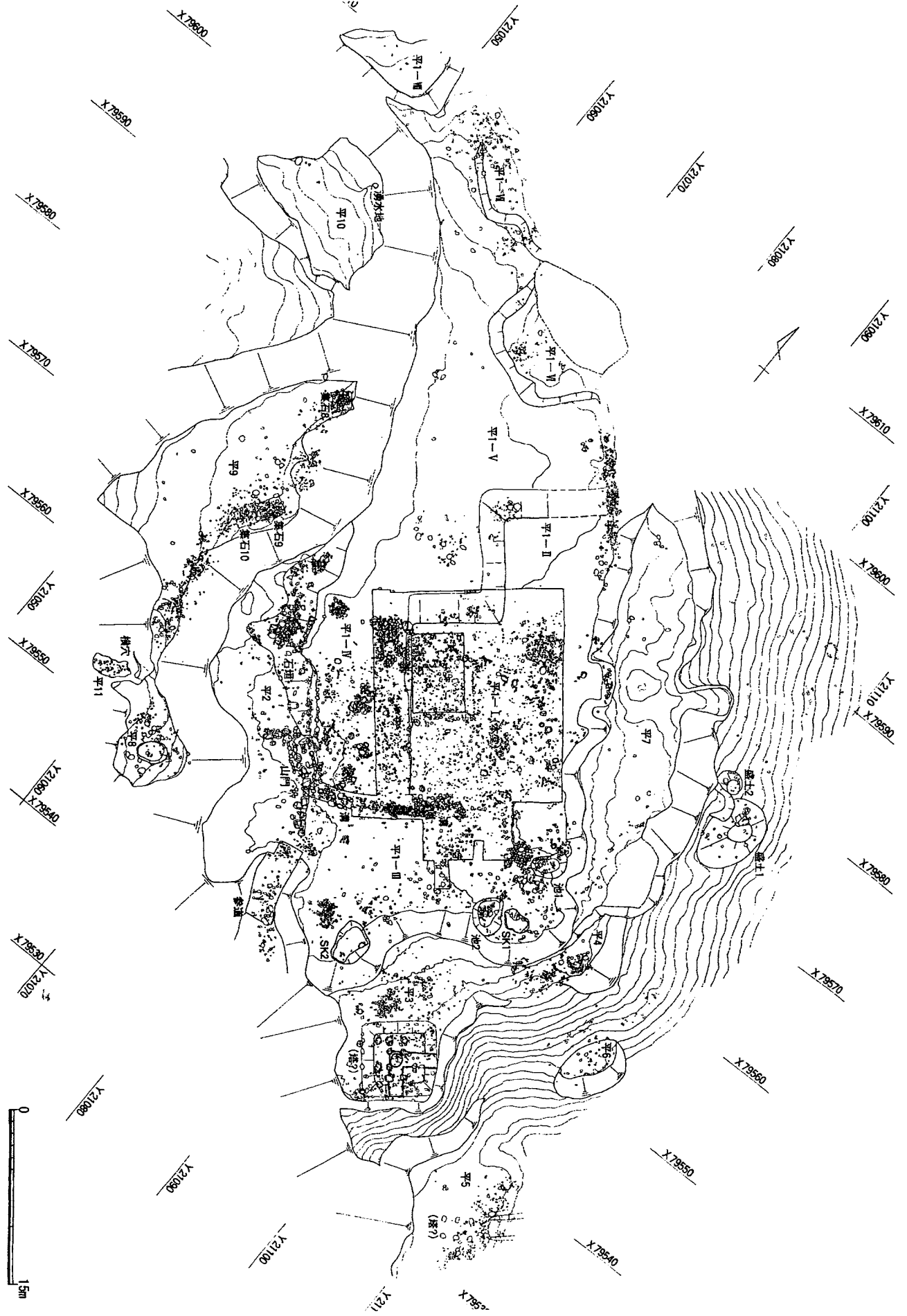


シウゴンジ遺跡出土遺物

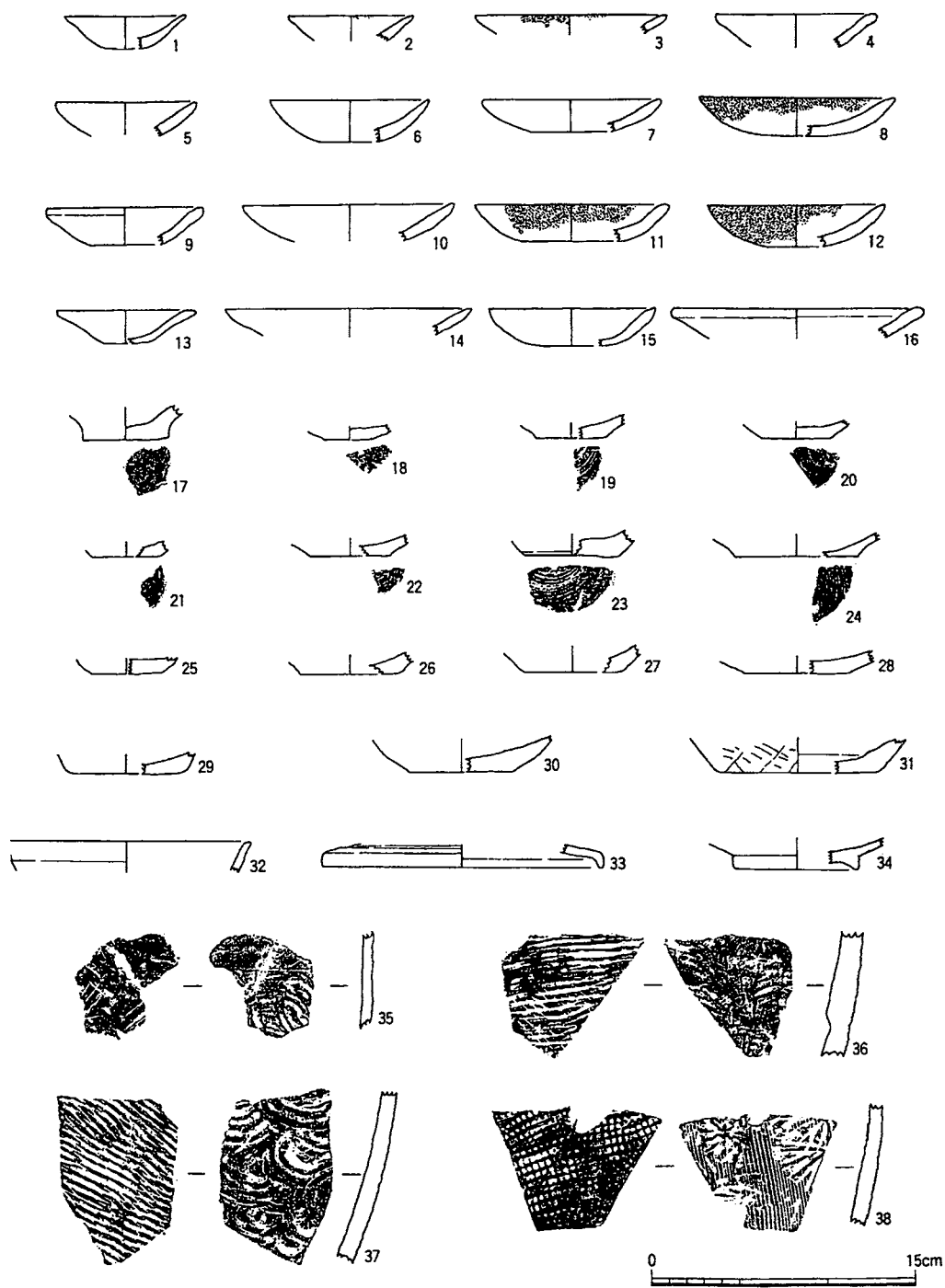
1 皿(土師器) 2~4 壺甕(珠洲)



伝眞興寺跡と周辺の遺構



伝真興寺跡の遺構



伝真興寺跡出土遺物／3) 本堂跡 (1～38)